

整形外科医療機器会社買収に関するお知らせ

ニプロ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：佐野 嘉彦）は、2020年度連結売上高5,000億円達成に向けた成長を支えるため、新たな事業分野として整形外科領域を強化する目的でネクスメッドインターナショナル株式会社（以下「ネクスメッド社」という）の発行済株式の全てを取得し子会社とする株式譲渡契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

1. 買収の目的

当社は、事業活動を通して社会に貢献するという経営理念のもと、つねに患者様のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）や医療現場の課題・ニーズに沿った独創的な製品でお応えする技術の追求を成長の糧としてまいりました。今日では、人工透析（人工腎臓）関連をはじめとする当社の医療機器は、その技術力と品質への信頼から国内外で広く使用されています。

医療機器事業においては、人工透析関連、一般ディスプレイ製品、循環器内科関連製品に次ぐ成長の柱として外科関連の医療機器を育成する方針であります。

組織面では、2015年4月の組織改革において外科領域での事業を推進するための事業部としてSD事業部を新設しており、製品面では、神経再生誘導管「リナーブ」の製造販売承認を取得し、国内市場導入の準備を進めているほか、脊髄損傷の治療に用いるヒト体性幹細胞加工製品「自家骨髄間葉系幹細胞」が厚生労働省より「先駆け審査指定制度」対象品目の指定を受けるなど、新たな治療コンセプトを具現化する外科領域での製品の導入・開発を進めております。

一方、ネクスメッド社は、2011年設立の整形外科用インプラント領域を主要事業とする会社であり、創業者である吉見氏は、日本における整形外科用インプラント製品の導入に深く携わっていると同時に、米国においても整形外科用インプラント領域の会社を創業するなど、同治療分野における豊富な経験と深い見識ならびに強力な医師との人脈を有しております。また、同社では、臨床現場で得た医師のアイデアをもとに米国開発製造子会社で製品設計開発を行っており、ユーザーニーズを迅速に製品化できる開発体制をとり、骨接合プレート、人工関節、脊椎の各領域の製品を開発・製造しております。

この度、ネクスメッド社を買収することで同社の事業基盤をプラットフォームとして活用し、同時に、当社での新規開発製品群の導入による相乗効果も加えることで中長期的な成長が可能となると考えております。なお、買収後はSD事業部の傘下で、2020年度において売上90億円を目標に事業運営いたします。

2. ネクスメッド社買収の概要

- (1) 株式取得の内容 ネクスメッド社の発行済全株式を一定の条件にもとづき段階取得
- (2) 株式取得先 吉見俊城氏およびその他の一般株主
- (3) 株式取得の日程 2017年1月11日 第1回株式譲受
- (4) 株式取得対象会社の概要
 - ①名称：ネクスメッドインターナショナル株式会社
 - ②代表者：吉見俊城
 - ③設立：2011年8月1日
 - ④所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬2-6
 - ⑤事業の内容：整形外科医療機器の開発、製造、販売
 - ⑥従業員：87名（連結 2016年12月31日現在）
 - ⑦資本金：347百万円

3. 業績に与える影響

本件による当期の連結業績に与える影響は軽微であります。

以上

<お問い合わせ先>

ニプロ株式会社 広報担当 TEL 06-6375-6700